



このQ-infoはお取引様をはじめスポーツスタッフがいろいろとお世話になっている方、Replyシートで購読のご希望をいただいた方、スポーツスタッフが最近名刺交換をさせていただいた方などにお送りしております。

ご意見、ご感想や送付の要否などは添付のReplyシートでお聞かせ下さい。

## スタッフのつぶやき

スポーツのスタッフが、読者の皆様一言お話しさせていただくコーナーです。

はじめまして！先月、弊社・西田のつぶやきにありました、システム部新メンバーの山田と申します。私は4月に入社したのですが、緊急事態宣言を受け、入社翌日から約2ヶ月間、自宅でのテレワークとなりました。入社早々テレワークで何をしていたかと言いますと、弊社の主力製品『はんばいQ』の操作マニュアルを作成しておりました。入社直後ということもあり、お客様に近い立場でシステムを触って書いているので、初めて使用される方により解りやすく書くことを目標にしております。

現在は通常通り出勤しており、他の業務と並行してマニュアル作成を進めております。

いつか皆様のお目に触れる機会がありましたら一読いただけましたら幸いです。

それでは、今後皆様にお会いできる機会を楽しみにしています。 よろしくお祈りします！（システム部 山田 耕大）



## IT雑情報

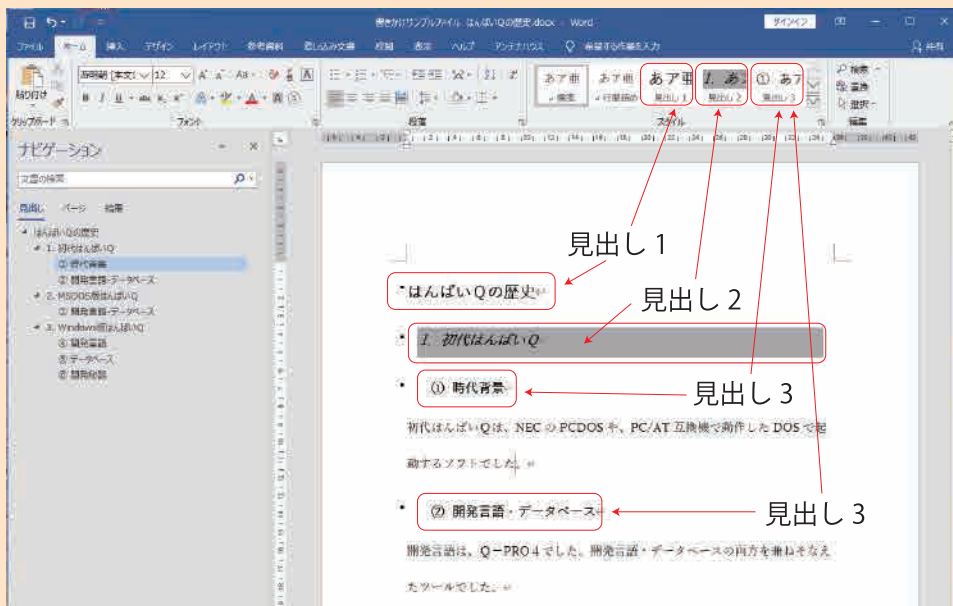
【Word 見出し設定】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

今回はワードの便利な機能を紹介したいと思います。

文章を作るときにタイトルの行をそろえたいのに、少しでもずれて綺麗にそろわない。という経験はないでしょうか？そんな時に、おすすめしたいのが「見出し」設定です。

入力した見出し行を選んで、ホームタブ→スタイル・見出し1・2・3等を選択するだけ簡単に設定できます。設定した見出しを一覧で表示・確認することもできます。（表示タブ→ナビゲーションウィンドウを選択）すごく簡単にできますので、ぜひ挑戦してください。これができると、目次も簡単に作れます。



Wordでの入力画面 ↑

上記の見出しを印字したもの →

### はんばいQの歴史

#### 1. 初代はんばいQ

##### ① 時代背景

初代はんばいQは、NECのPCDOSや、PC/AT互換機で動作したDOSで起動するソフトでした。

##### ② 開発言語・データベース

開発言語は、Q-PRO4でした。開発言語・データベースの両方を兼ねそなえたツールでした。

#### 2. MS-DOS版はんばいQ

##### ③ 開発言語・データベース

#### 3. Windows版はんばいQ

##### ④ 開発言語

##### ⑤ データベース

##### ⑥ 開発秘話

## TOPICS

## IT導入補助金のWeb説明会を開催します

本年度のIT補助金は、現在第8次締切分（9/30締切）の公募中ですが、12月末まで、毎月月末締切で公募が継続される見通しです。よって、またこれからの応募も間に合いますので、申請の仕組みや応募方法などについての説明会をWeb（ZOOM）で行います。ご希望の方は以下の要領でお申込下さい。

開催日時 2020年9月17日(木) 14:00～15:30

開催方法 ZOOMによるWeb配信

参加申込は、会社名、お名前、連絡先をお書きの上、以下のアドレス宛にメールでお申込下さい。開催当日、ZOOMのIDとパスワードを申込時のメールアドレスにお送りいたします。

申込メールアドレス [y-oka@sysport.co.jp](mailto:y-oka@sysport.co.jp)

# 読者 訪問



第127回

お伺いした会社 有限会社安原商会  
 お話を伺った方 代表取締役 安原 弘治 様  
 会社の所在地 〒601-8213 京都市南区久世中久世町1丁目80-1  
 連絡先など TEL:075-204-5803 FAX:075-204-5804  
 事業内容 印刷機器・機材の販売業



安原社長

本年4月に社長に就任された有限会社安原商会の安原弘治社長をお訪ねしました。お伺いして初めて知ったのですが、先代社長であるお父様が6月にお亡くなりになったそうです。時節柄、近親者だけでご葬儀は済まされたということですが、病院で手術を予定していた矢先に心不全で急逝されたそうです。5月にはゴルフもなさっていたということですから急なことだったようです。しかし、4月にお父様から社長を交代されていたので、業務的にはたいした混乱もなく不幸中の幸いだったようです。



販売している印刷機械



発行されている小冊子の表紙

同社は現社長のおじい様が印刷関連機材の大手販売会社から独立して京都で開業されたのがはじめだそうで、現社長は3代目にあたります。

業務内容は印刷業関係を中心に、印刷機械や材料（消耗品など）を販売なさっており、取引先は印刷業関係が9割を占めるのだそうです。

印刷業は近年、ネット印刷の台頭など厳しい経営環境にさらされており、同社の経営にも大きな影響が出てきているのではないかとお尋ねしたら、印刷業界全般としては厳しいが、伸びているところも少なくないとおっしゃいます。営業力があるところやISOやPマークなどを取得しているところは伸びており、下請けしているところは厳しいということです。また、昔ながらの付き合いを重んじる京都らしさを反映してか現状維持というところも多いそうです。

また、同社の既存取引先は高齢化が進んでおり、なかには廃業される場所もあつたりするので、新規取引先の確保が最重要課題だとおっしゃいます。

仕入先や取引先からの紹介も多く、また印刷業や紙工業関係などの組合に加入して人脈を広げて販路の拡大を図っておられるそうです。しかし昨今のコロナ禍で宴席がなくなり、新しい人との出会いがなくなってきたのが痛いとおっしゃっていました。

そして一方では、近年はオンデマンド印刷などカウンター式のトナーも増えてきており消耗品の売上げも減少してきているそうです。

そんな状況の中にあつて、システム販売や他の業界への販路開拓なども模索なさっておられます。

ものづくり補助金を絡めてコーディネータと連携して印刷機械の販売を推進したり、弊社とは昨年来、販売管理システム『BUBUBU』を取引先にご紹介いただいたり、テレワーク絡みでUTMの導入をお勧めいただいたりして、協業を進めていただきました。新しい事業形態としてこれからも協業させていただいてシステム販売をお進めいただければ有り難いと思っております。

また、将来的には従来の枠にとらわれず、面白い趣味を持った人などと組んでまったく新しいビジネスと一緒に構築できないかなど、新しいことにチャレンジしていきたいとおっしゃっていました。

従来の事業でしっかり足元を固めながら、まったく別の新しいことにもチャレンジしていきたいとおっしゃる若き新社長の10年ビジョンを見守っていききたいと思います。（米田）



いっちょかみ

## “一丁啮”が行く！

第143回：AMラジオがなくなる？

ちょうど1年前の昨年8月、総務省の有識者会議が、日本民間放送連盟（民放連）が要望していたAMラジオ局のAM放送廃止とFM放送への転換を容認することで一致しました。

現在、大半の民間のAMラジオ局は補完放送としてワイドFM放送をしています。AMとFMの両設備を維持するには経費的にも厳しいとして、比較的簡易な設備で送信できて低コストとなるFM放送のみとすることを可能にする制度改正を求めています。

右の表に示すようにAM放送は、例えば送信設備として広い敷地に高さ100m規模のアンテナが必要であったり、いろいろと大規模な設備が必要であるのに対して、FM放送は小規模な設備で放送が出来る、建物内での受信もしやすくなる、音質が良いなどの特徴があり、民放連ではFMへの一本化を望んでいました。

現在、補完放送として放送しているワイドFMは90.0MHz～94.9MHzという周波数帯域を使うため、従来のFMラジオでは聞くことが出来ずワイドFMに対応したラジオが必要となります。AM放送の廃止は早くても2028年以降となりそうで、それまでにはワイドFM受信機も普及するのではないかと思います。

ちなみに、筆者の車のラジオも既にワイドFMに対応しており、いままで京都では入りにくかったABC朝日放送のナイター中継をクリアに聞きながら帰ることが出来、ワイドFMの恩恵を享受しています。

野球放送がクリアに聴けると、某チームが勝つのはまったくなんの関係もなく、クリアに聞けるのがいいのか悪いのか、悩ましいところです（^^）

AM	FM
建物内は受信しにくい	受信の特徴 建物内でも受信しやすく高音質
広い	電波の到達範囲 狭い
大規模な設備が必要	放送設備 比較的設備は簡易
老朽化した設備の更新が負担	課題 ・広いエリアでは多くの中継局が必要 ・ワイドFMに対応するラジオが必要

### 編集後記

今年のお盆休み、皆様は如何お過ごしになりましたか？ GoToトラベルで出掛けろと言ったり、第2波の感染が広がっているから出掛けると言ったり、政府の対応には辟易しますね。私は私用で博多まで出掛けなければならないことがあり、新幹線で行ったのですが、広島を出てふと気がついたら私が乗っている車輦にはなんと私一人👤メッチャ驚きました。